

平成23年度(第4回) 近畿支部研究発表会「優秀発表賞」受賞者の発表

6月18日(土)・19日(日)に大阪工業技術専門学校で開催された、当支部研究発表会場での発表について以下の24人の方が優秀と認められ受賞されましたので発表いたします。

優秀発表賞について

- 1) 目的：学生の論文発表の意欲を高め、近畿支部研究発表会の活性化を図り、あわせて、プレゼンテーション能力の向上を図るため、優秀発表賞を選出し表彰する。
- 2) 対象：発表登録時に、修士または博士の学位を持たない学生（発表登録時に博士後期課程に在籍する大学院生は除く）で、審査を希望した論文発表プレゼンテーション（態度・内容の理解・発表の工夫・質疑応答等）を対象とする。

(※論文内容が対象ではない)

受賞者

- 2004 断層近傍の上下動特性に関する研究 ○鈴木恭平（京成大）
2026 複合改良地盤を用いた免震建物の擁壁衝突時の応答低減に関する研究 ○三木久美子（大阪大）
2049 鋼構造ラーメン骨組の倒壊解析のための魚骨形骨組へのモデル化手法 ○村上友規（大阪大）
2072 外リングダイヤフラム形式角形鋼管柱梁接合部の弾塑性挙動 ○伊藤綾那（神戸大）
2100 CES 造耐震壁の構造性能に関する研究 ○鈴木卓（豊橋技科大）
2103 地震時における伝統木造建物の振動特性変化と最大応答の簡易予測 ○杉野未奈（京成大）
- 4015 タスクアンビエント照明に関する研究 ○丸山悠（奈良女子大）
4021 潜熱蓄熱材と除湿材を併用したデシカントシステムの性能予測に関する研究 ○山口麻有（大阪大）
4044 小断面スギ集成材の耐火試験における燃焼および燃え止まり性状 ○大橋達也（京成大）
4059 低湿度環境下での乾燥感に関する研究 ○木村裕太郎（神戸大）
4081 微小な圧力差における水平開口の流れ性状の測定 ○宮本拓幸（京成大）
- 5007 マルチエージェント・シミュレーションを用いた公共施設のアセットマネジメント手法に関する検討 ○小倉正考（大阪大）
5031 行為と「笑顔」に基づく利用者参加型調理の効果に関する研究 ○宮崎崇文（大阪市大）
5059 地方都市郊外部に点在する住宅地における空間構成と地域コミュニティ ○大上泰弘（香川大）
5073 用途変更後の利用実態からみた長寿命建築物の現状 ○山田彩佳（大阪大）
- 6008 復興住宅にみる生活文化の継承と景観特性の関係 ○白浜晋平（神戸大）
- 7012 地域ブランドによるまちづくりとアイデンティティ形成に関する研究 ○松榮将也（和歌山大）
7029 大規模災害時の防災力向上に向けた住民組織の課題と対策 ○西尾啓太郎（立命館大）
7047 大阪市における都市活動と光景観の調査分析 ○仁居智子（大阪府）
7067 神戸市臨海部における戦後の都市形成とその景観変容に関する研究 ○脇田早苗（神戸大）
- 8008 神戸市におけるあんしんすこやかルームに関する研究 ○下山大樹（大阪市大）
- 9012 テオ・ファン・ドゥースブルフの建築及び絵画作品における構成手法について ○中村優希（大阪工大）
9024 『NATURE NEAR』にみるリチャード・ノイトラの〈biorealism〉の思想とその建築的展開に関する研究 ○祖父江司（神戸大）
9050 雲雀丘・花屋敷地区における戦前期の住宅地形成に関する研究 ○阿武宏光（神戸大）

合計 24人